Popoki

Newsletter No.85　2012.9.25

ronniandpopoki(at)gmail.com
http://popoki.cruisejapan.com

秋です。風のにおい、太陽の輝き、雨の音・・・。ポーポキはゆっくりと秋を観察しています。
人間にとっては忙しい秋ですが、時間を見つけて「秋」を感じてください。

Popoki's Hot News!

NEW　**ポーポキと一緒に健康と平和を考えるイベント！**

11 月 10 日にポーポキと一緒に健康と平和を考えてみませんか？
自分の身体の音は？においは？「健康」の色は？
毎日を楽しく過ごすカギのひとつは、自らの健康に気付くことです。
そして、それは平和にもつながる。詳しく、本号8ページへ！

「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのまゆにゃんから、届いた平和：
「自分の置かれている周りの環境に感謝できること」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。ポーポキのメール ronniandpopoki (at) gmail.com！

お勉強の秋！

ポーポキは、10月にアメリカ、11月に中国や日本で友情物語の活動について発表します。みなさまもぜひ、ご一緒に勉強しましょう。
詳しくは、「ごいっしょにどうぞ」をご参照！

いつもご協力、ありがとうございます！

「ポーポキ友情物語　東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅」
(エピック 2012)
はお陰様で好評です。ぜひ広めていただきたいです！
＊神戸 YMCA でも販売していますよ！
本については、http:popoki.cruisejapan.com/monogatari.html をご参照ください。

ポーポキとフィリピン in 2012 夏

有パンにゃん

2012 年夏、マニラで起こっている洪水のニュースがテレビで流れたときから、今回の私たちの旅は始まりました。それを見たとき私は、よし！ポーポキにフィリピンへついてきてもらおう！と思ったのです…

―8 月 9 日、フィールドワークにためにフィリピンへスタディツアーに行く予定だった私はそれなりにわくわくしていました。しかし、それは洪水のニュースを聞くまでの話で…腰のあたりまで水に浸っている様子を映していたその映像はさすがに私にも少しインパクトがありました。フィリピンではこのような洪水は決してめずらしいことではありません。なので、私もフィリピンの人たちがそのような洪水の被害をいちいち気に病んでいるのかといったら疑問なところもあって。それでもやっぱり、彼らのために、自分の手が届く範囲だけでも何かしたい、そう思った私は自分に何ができるのか考えました。そして考えた結果、私はポーポキを描いた長い布とマジックを持ってフィリピンへと向かうことにしたのです。

8 月 16 日、フィリピンの首都マニラに無事到着した私は、むしろ何の変化もない街の様子を見て驚いてしまいました。大きな被害があったのはマニラの中でも北西部だけだということは聞いていたのですが、まさかこんなに違いがあるとは…というのがそのときの感想です。確かに、たまに海の近くや少し北の方を車で走っていると、道路の脇にゴミがたまっていたりしました。でもそれだけで、あとは本当に以前と変わりのない街並みが広がっていました。ショッピングモールで買い物をしていた女性に「洪水は大丈夫でした？」と聞いても「あぁ、うちは全く問題なかったわよ。」みたいなかんじでしたし。結局、訪問してしばらくの間は大きな洪水被害の状況を見る機会はなく、私の興味も過密なスケジュールによって徐々に違う方向へと向けられていきました。

ツアーのコンテンツとして私に用意されていたのは、マニラとその周辺に存在している格差、慰安婦、原発、基地、国際援助といった問題とそれらに対して活動をしている団体との接触の場でした。どの話も大学で授業を受けていたら一度は聞いたことがあるような話、強い衝撃を受けたと言えば嘘になります。しかし、それでも自分の頭からこびりついて離れなかったのはさまざまな活動家の人々の口から共通して発せられる「平和」という言葉でした。「平和のために…」「正義がないところに平和はない」最初は心地よく聞こえるそのような言葉を私は正直どこかで拒否していました。その理由はおそらく話の中で出てきたデモや反対運動…そして、そこから発せられる怒りや憎しみ、哀しみといった感情に戸惑いを感じていたからだと思います。おそらく、そのように自分たちの感情を外に出さない限り、彼らの思い描く平和は訪れません。それは理解しているつもりです。それでもやはりどこか受け入れられない。ツアー中、私はそんなジレンマに悩まされていました。

そんなことを考えていたら 8 月 22 日、やっと私が待ち望んでいたイースト・リバーサイド・コミュニティというマニラ北部のスラムを訪問する日がおとずれました。このスラムは名前の通り大きな川の近くにあるコミュニティで、川の氾濫にもよく悩まされているとても危険な地域です。しかし、フィリピン都市部の貧困者は住まいを借りるお金がないため、このような危険な空き地で不法に暮らしているのです。私は訪問する前からイースト・リバーサイドが今回の洪水で大きな被害を受けていたことを聞いていたので、このような天災ではなく人災とも捉えられるその現場に早く行きたいという気持ちがありました。しかし、実際訪ねてみると、そこでもまた想像とは違う驚きがありました。というのも、思っていた以上に片づけられていたのです。確かに道の脇や街のところどころに瓦礫やゴ

ミはありました。それでもあれだけの映像を日本で見せられたのに…。話を聞くと、なんでも散らかっていた街は、コミュニティ内のデイケアセンターの現地スタッフや住民によって 12 日間の間でかなり掃除されたというのです。その話が私にとって今回のツアーでの一番の衝撃でした。わずか 12 日の間でこんなにも自分たちのコミュニティを奇麗にできる、そんな彼らの力に私は驚かされたのです。

※左が先に行っていたツアー・メンバーが 8 月 10 日に、右は私が 22 日に撮影したもの。

ただし、その後コミュニティの中を回ってみると、家は流されてこそいませんでしたが、2 階の壁には水につかった後が残っていることに気がつきました。また、住民の方から家の中の家具や食べ物が流されてしまい、物資が不足しているという話も聞くことができました。このように見えにくいまでもその爪痕はコミュニティの中にしっかり残っていました。

そして、持っていった布にはそのデイケアセンターの中で絵を描いてもらうことにしました。描いてくれたのは同じツアー参加者、そこに通うイースト・リバーサイドの人々やスタッフで、子ども以上にたくさんの大人が描いてくれました。そこに描かれたのはたくさんのキャラクターや花や太陽といったもので洪水を思わせるような絵を描く人はだれもいませんでした。それはそれで印象的だったのですが、描いてくれた絵の中でどうしても頭から離れなかったのが、一人のおじさんが描いてくれた自分たちのコミュニティの絵…それはとてもとてもきれいで、おそらく誰もそれをスラムだとは思わないでしょう。描いてくれたとき、私はその場を離れていたために話を聞けなかったのですが、どうしてそのような絵になったのか本当に気になりました。帰ってきてから他の人にその話をすると、ある人はその絵が願望を表しているのかもしれないと言っていましたし、ある人はその絵のようにその人には映っているのかもしれないと言っていました。でも、やっぱり真相はだれにもわかりません。

ただし、時間が経ってから思うことはそのおじさんも他のイースト・リバーサイドの人もただ表に出さないだけで、本当は彼らも怒りや憎しみ、哀しみといった感情は当然胸に抱いているであろうということ…私がフィリピンで見た平和が構築される2つのかたち、それらは意外にとても似たものなのかもしれません。そして、そ

http://popoki.cruisejapan.com
ronniandpopoki (at) gmail (dot) com

れでもその2つに全然違う反応をしてしまったのは、私が「平和」をどう考えているかに関係しているのかもしれません。「うーん…、ダメだ…、ポーポキ…なんかよくわからないことばっかりだ…(;ー_ー)」そんなことを頭の中でささやきながら、私とポーポキはフィリピンを後にしました。

最後に…実は今回の布はツアーのメンバーからも大盛況で、デイケアセンターに記念においていったら？などともよく言われていました。でも、私はこの布を持って帰りたかったので…持って帰って他の布とつなげてたかったので、持って帰ることにしました。フィリピンの人たち、そして日本の人たちの思いをこの布でぜひ共有できたらなぁ、とか勝手に考えています。

ポーポキ in 大槌町 9.8-9

文・ろにニャン、写真・さとニャン

2012.9.9、岩手県大槌町。今回は、NPO「つどい」が中心となって開催されたフリーマーケットにポーポキも参加しました。神戸大学学生ボランティア支援室主催のボランティア・バス参加者のとなりでしたが、彼らは負けないゾウ、草履、足湯などを提供しました。大槌町のみなさんは、手芸品や野菜など、いろいろなものを販売していました。お天気にも恵まれて、にぎやかで楽しい一日でした。

ピッツバーグ子ども博物館から届いた大きなキャンバス。フリーマーケットで描いていただくことにしました。10 月にピッツバーグの同博物館で展示することになっています。まずは、大きなポーポキ・・・。

http://popoki.cruisejapan.com
ronniandpopoki (at) gmail (dot) com

http://popoki.cruisejapan.com
ronniandpopoki (at) gmail (dot) com

ポーポキの友だちの一人は、道又先生。 先生の小児科医院が津波によって破壊されたが、新しくオープンしたところを発見しました！ おめでとうございます！

巨大な津波が街全体を覆った （写真:2012.9.9）

http://popoki.cruisejapan.com
ronniandpopoki (at) gmail (dot) com

津波が３階まで。水門を超えて。

今回も大槌町のみなさまにたくさんのことを教えていただきました。
心から感謝します。
震災から一年半も経ちました。でも、課題がまだいっぱいあります。
大きなことはできませんが、これからもポーポキは大槌町の友だちと一緒に歩み続けるつもりです。
また来ますね。お会いできるのを楽しみにしています。

http://popoki.cruisejapan.com
ronniandpopoki (at) gmail (dot) com

ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 52

今月のポガのテーマは腰、腹筋やお尻！強くなる、そして癒されるといいですね。

1. いつものように、背筋を伸ばし、自分を細く見せながらちゃんと座りましょう。
2. さて、手でお尻を支えながら、腹筋を使って、お尻、足としっぽをまっすぐ上へ。
   （しんどい人はお尻を上げずに足としっぽだけにしてください。）
3. 安定したところで足を開きましょう。しっぽものばしてみるのもいい！
4. では、お尻をあげたまま、膝をまげてみましょう。腰やお尻の筋肉がのびるでしょう。
5. できた！できたポーズをどうぞ！

お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

ご一緒にいかが？

次回のポー会　9月26日（水）　神戸YMCA　19:00～20:50

10.13-14　ポーポキ友情物語 in 岩手県大槌町（予定）
10.18-21　ポーポキ at Pittsburgh Children's Museum
11.9　ポーポキ in 上海！「リスク・マネージメント」についてのシンポジウム。神戸大学大キャンパス・アジア・プログラム主催。
11.10「平和と健康」兵庫医療大学地域連携室　13:30 会場・14:00-16:00. ポー会スタッフ集合：13:00
11.24-28　ポーポキ友情物語 at IPRA (International Peace Research Association)大会。三重県津市。(ポーポキは26日の午後、芸術・人権・平和部会)
12月　ポーポキのミニ・映画祭（予定）
2013.2.23-24 ポーポキ in 東北（予定）
2013.3. 21　ポーポキ at 国際ロータリー（予定）

http://popoki.cruisejapan.com
ronniandpopoki (at) gmail (dot) com

ポーポキ in メディア

ポーポキ通信のバックナンバー：http://popoki.cruisejapan.com/archives.html

- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics.* Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒につくり出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日［子どもと守る9条の会］
- 「布に希望　60 メートル」 阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29 面)
- 「平和祈る声まとめ本に」 斎藤雅志　『神戸新聞』 2012.1.19　(伝える 1・17　3・11、22 面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing”(Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima.* Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- **「省窓」『神戸青年』 No.606　2011.1.2 p.1**
- No.1 「『ポーポキ、平和って、なに色？』の背後にあるもの」 (連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ：こくさいのまで⑮(パレスチナについて) 『神戸青年』No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- ［ヒロシマと世界：　被爆地の声　非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え］ **http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja**
- 2010.3.15 中国新聞　ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO　76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9　Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (http://www.infactispax.org/journal/)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色？ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号　2009.11　伊丹市国際・平和交流協会　年間事業報告　pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29　2010.1　家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌　ポーポキ・ピース・チャンレジ情報　p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2.　ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色？』」「私のいち押し」 奥田光子　THE　GAIDAI　2009.7.17　No.243　(関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」 朝日新聞 「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて~人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信　RST/ALN　2009.6.28　No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」 第 35 号　2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介：『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック 2」(レベッカ・ジェニスン)　p.3
- 「猫を通して平和を考える　絵本の第 2 弾を出版」 (斎藤雅志) 神戸新聞　2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色？」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.3.1　No.593　p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色？」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.1.1 No. 592　p.2
- 「友だちになってくれませんか？」 RST／ALN　2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ！！！プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。　http://www.kizzna.fm/　録音番組をクリック。番組 CH の6CH をクリック。
- やさしいから人なんです展パート20　実行委員会 『世界人権宣言』 ひょうご部落解放・人権研究所　2008. 10　500 円。 詳しくは：　blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ　ロニー・アレキサンダー氏　講演会」 エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー　in　熊本　あなたにとっての「平和」とは？」 Kumamoto YMCA News 10　Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞 「人権宣言　兵庫から発信　全 30 条　イラストで表現　地元ゆかり 6 名がパネル制作」 2008.10.8. 10 面
- 中国新聞 「核廃絶への視点」 2008. 7. 27 (核抑止論について・・・。3時間！？！にわたる取材で一生懸命にポーポキのことを話したのに・・・。

http://popoki.cruisejapan.com
ronniandpopoki (at) gmail (dot) com

私にとってのポーポキ

谷口太郎

ポーポキには直接会ったことはありません。
それでも、ポーポキは私の心に可愛い引っかき傷を残しました。

「平和って、なに色？」

この言葉が壁に残った猫の爪のあとのように私の心に残っています。
平和が何色かなんて、そんな事考えたこともありませんでした。

特に大学院に入ってからは、平和について難しく考えて難しく表現しようとしていたので、結局、難解な言葉に振り回されてしまっていました。そんな時、ポーポキの問いかけてくれた言葉が、私の忘れていた感覚をいつでも思い出させてくれます。それは頭の中で考えるものと言うよりは五感で平和を感じているかのような直接的な感覚です。

例えば、風が体に当たることで、どれだけの圧力がかかるかいう物理の計算問題を部屋でしているとします。でも、30 分ほどすると計算が行き詰って「もういや」と外に休憩をとりに行きます。すると、頭でっかちになった私に、風がふわぁっとあたって、心地よい空気の流れがそのまま上着の中に入ってきておなかをくすぐってきます。それがすごく気持ちがいい。

「気持ちいいなあ」と体で感じると、すごく気が楽になります。そのあともう一度問題に取り掛かると、案外スラスラ解けたりします。

「平和って、なに色？」

この言葉を聞くと、平和に触れられるような気がします。
ポーポキと知り合えてよかったです。

http://popoki.cruisejapan.com
ronniandpopoki (at) gmail (dot) com

さらにご協力ください！

ポーポキ･ピース･プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』(エピック、2007年)、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』(エピック、2009年)を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011 年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語　東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を 2012 年 1 月に発行します。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース･ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳(『ピース・ブック1』は既に10ヵ国語に翻訳されている)、『ポーポキのピース･ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさりたい方はぜひご参加ください。(ポー会の開催については、ポーポキ通信の「ご一緒にどうぞ」の蘭をご参照されたい。)

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いいたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.com へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック(TEL: 078-241-7561･FAX: 078-241-1918)へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト　popokipeace(at)gmail.com

http://popoki.cruisejapan.com

郵便振替口座番号　00920－4－280350

ゆうちょ銀行　店番099　店名099店　当座　口座番号0280350

口座名　　ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円　何口でも結構です。